

アマンディーヌ・ベイエ & リ・インコーニティ
ヴィヴァルディの「四季」《バロック名曲集》

Amandine Beyer

The Four Seasons and Other Concertos

& Gli Incogniti

あふれ出る色彩感—
音が生まれ、音が生きる、その瞬間へ
風景のようにひらかれる、音楽の喜び

アルバ・ロカ, 川久保洋子 (ヴァイオリン)
マルタ・パラモ (ヴィオラ)
マルコ・チェッカーツ (チェロ)
バルドメロ・バルシエラ (ヴィオラオーネ)
エリアス・コンラッド (アーチリュート)
アンナ・フォンターナ (チェンバロ, オルガン)

アマンディーヌ・ベイエ
(ヴァイオリン独奏, 音楽監督)

Program

マルチェッロ: 5声の協奏曲 ホ短調 Op.1-2
Benedetto Marcello: Concerti a Cinque in E minor, Op.1-2

J. S. バッハ: チェンバロ協奏曲 第4番 イ長調 BWV1055
J. S. Bach: Harpsichord Concerto in A major, BWV 1055

ダッラーバコ: 協奏曲 ニ長調 Op.6-12
Evaristo Felice dall'Abaco: Concerto in D major, Op.6-12

ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」Op.8全曲
Antonio Vivaldi: Le Quattro Stagioni
La Primavera Concerto Op.8-1 in E major RV 269
L'Estate Concerto Op.8-2 in G minor RV 315
L'Autunno Concerto Op.8-3 in F major RV 293
L'Inverno Concerto Op.8-4 in F minor RV 297

2026年 **10月25日 [日]** 14:00開演 (13:30開場) **三鷹市芸術文化センター風のホール** 三鷹市上連雀6-12-14

チケット発売日 マークル会員2026年5月26日[火]/一般5月29日[金]
料金(全席指定) マークル会員S席4,500円・A席3,600円/一般S席5,000円・A席4,000円
O-70 (70歳以上/A席限定) 3,600円 / U-23 (23歳以下/A席限定) 3,000円

*U-23ご利用の中学生以上の方およびO-70ご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いします。
*風のホールは2階席へのエレベーターがございません。階段でのご案内となります。

プレイガイド

- **三鷹市芸術文化センター** *発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。
 - ・電話予約 チケットカウンター **0422-47-5122** [10:00-19:00/月曜休館・月曜が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館]
 - ・インターネット予約 <https://mitaka-art.jp/ticket> *事前登録(無料)が必要となります。*携帯電話からの場合、座席は自動採番です。
- **アレグロミュージック** **03-5216-7131** [火-金曜日/11:00-18:00]
- **イープラス** <https://eplus.jp>

主催・お問い合わせ **公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122**

Amandine Beyer

The Four Seasons and Other Concertos

& Gli Incogniti



©Oscar Vazquez

Message

親愛なる観客の皆さま、親愛なる友人の皆さま、
私たちリ・インコーニティにとって今年は何年か特別な年です。創立20周年を祝う年だからです！

私たちが形作るものは、若さ(精神の!)、情熱(いつものように!)、そしてエネルギーです。

決して明るいとは言えない世界情勢から目を背けることなく、アンサンブルは自分たちの最も得意とする分野に焦点を当てることを選びました。それは軽やかさ、気楽さ、エネルギー、幅広い感情、そして豊かな情感を捉え、それらを音楽と深く結びつけて皆さまと共有することです。

私たちの周りで起こっていることを忘れるためではなく、むしろその逆です。社会に根ざし、現実を真正面から受け止めつつ、内に秘めた優しさ、ユーモア、理解の蓄えを胸に抱いて。

バロック時代の作曲家、ゲオルク・ムッフアトが言うように「幸せに生きてください (vivete felici)」。

ぜひ私たちと一緒に楽しみましょう！

Amandine Beyer
アマンディーヌ・ベイエ

ヨーロッパ古楽シーンの最先端で絶大な人気を誇る「バロック・ヴァイオリンの女王」、アマンディーヌ・ベイエと、彼女が率いる古楽アンサンブル《リ・インコーニティ》が、三鷹に待望の初登場を果たします。

ヨーロッパの古楽の中心地で研鑽を積んだベイエは、歴史的奏法と自由な表現を融合させ、独自の音楽世界を確立。リ・インコーニティとともに、緻密さと即興性を自在に行き交う演奏で、国際的な評価を築いてきました。

彼女たちの音楽の魅力は、作品の構造や様式を深く掘り下げながらも、奏者同士が呼吸を交わし、音を投げかけ合う生きた対話にあります。そこから立ち上がるのは、洗練を超えた生命感に満ちた響き—音楽する喜びがダイレクトに伝わる演奏です。

本公演では、マルチェッロ、J.S. バッハ、ダッラーバコの協奏曲を前半に配し、後半にはヴィヴァルディの《四季》全曲を演奏します。「『四季』といえば、ベイエが最高!!」と多くの演奏家が称賛するその解釈は、鮮烈な色彩と躍動するリズムにあふれ、作品に新たな生命を吹き込みます。リ・インコーニティは、地中海的な光彩を帯びた稀有なピリオド楽器アンサンブル。作曲家それぞれの個性を際立たせながら、バロック時代を彩った協奏曲の魅力を鮮やかに描き出します。

今回は10年ぶりの来日で、2020年3月に予定されながらコロナ禍により中止・延期となった三鷹公演が、ついに実現します。さらに本年は《リ・インコーニティ》創立20周年という節目の年。長い時を経て結実するこのステージは、音楽が持つ根源的な歓びと力をあらためて体感させてくれる、特別なひとときとなるでしょう。

アマンディーヌ・ベイエ (ヴァイオリン独奏, 音楽監督)

Amandine Beyer (violin solo & director)

フランス古楽界を代表するバロック・ヴァイオリン奏者。エクス=アン=プロヴァンスでオーレリア・スパダロに師事した後、パリ国立高等音楽院、スイスのバーゼル・スコラ・カントルムに入学。バンキーニのもとで古楽奏法への研鑽を深め、同時にコワン、ホプキンソン・スミスといった巨匠たちに薫陶を受けた。1998年ボンポルティ国際コンクール、2001年トリノ・ヴィヴァルディ・コンクール入賞を経て、2006年にリ・インコーニティ、2015年にはキットガット・クワルテットを結成。J.S. バッハ『無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&バルティータ』のCDが数々の賞を受賞。その後、ベルギーのダンス・カンパニー《ローザス》を主宰する振付師、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルに招かれ、「バルティータ第2番」でダンサーとコラボレーション、アヴィニョン法王庁宮殿の名誉の中庭で5回の公演後、世界中で80回以上もの公演を行った。《ローザス》との共演はその後も続き、2018年には「6つのブランデンブルク協奏曲」でパリ・オペラ座、ブリュッセルのモネ劇場、ベルリン、ニューヨーク、リエージュ、リール、ルクセンブルクなどに出演。2023年にはビーバーの「ロザリオ・ソナタ」を上演した。室内楽ではピエール・アンタイ、クリスティアン・ペザイデンホウト、アンドレアス・シュタイアーともたびたび共演。演奏会での数々の名演を繰り広げながら、AlphaおよびZig-Zag、ハルモニア・ムンディに多くの名録音(CD)を残している。2010年からバーゼル・スコラ・カントルムでバロック・ヴァイオリン科教授。

リ・インコーニティ

Gli Incogniti

アマンディーヌ・ベイエによって2006年に設立。名前の由来は、17世紀ヴェネツィアで最も自由で活発だった芸術・学術サークル「アカデミア・デッリ・インコーニティ (Accademia degli Incogniti)」にちなんでいる。響きの実験、新しいレパートリーの探求、「古典」の再発見など、すべての「知られていない」ものに対する興味を養うことにより、インコーニティの名の精神をさらに取り入れることを試みている。現在、歴史的に裏付けられた解釈において世界トップクラスのアンサンブルの一つに数えられている。フィラルモニー・ド・パリ、シャンゼリゼ劇場(フランス)、ウィグモア・ホール(イギリス)、フィルハーモニー・エッセン(ドイツ)など世界の著名なホールに招かれているほか、国際的なフェスティバルにも数多く出演。これまでに16枚のCDをリリース。ディアパゾン・ドール、ショック・ド・クラシカ、グラモフォン・エディターズ・チョイスなど多くの賞を受賞。特にヴィヴァルディの『四季』は数週間、フランスのクラシック音楽CDセールスの首位を飾った。最新ディスクは『Bach from Italy』。2016年以来、10年ぶり3回目の来日。次世代への音楽の継承に強い関心を持つリ・インコーニティは、フランスのグラディニャンで若い人を対象に室内楽とボディワークのアカデミーを開催している。



©Herman Sörgeltoos

ベイエの《四季》を起点に生まれたダンス公演が6月初来日!

世界的舞踊団(ローザス)を率いるアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルが盟友ベイエを音楽分析に迎え、気鋭の振付家ラドワン・ムリジガと創作した『和声と創意の試み』。ベイエとリ・インコーニティの名盤《四季》(録音音源)をもとに、4人のダンサーが気候変動に直面する現代社会を詩的に問いかけます。

ローザス、アトラファイブ『和声と創意の試み』

2026年6月19日[金] 19:30開演
6月20日[土]・21日[日] 14:00開演
彩の国さいたま芸術劇場 大ホール



@MusicMitaka (公財) 三鷹市スポーツと文化財団・音楽部門の公式X(旧Twitter)です。ぜひこの機会に「フォロー」をお願いします!

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます。

口座番号: (ゆうちょ銀行) 00190-5-569156
加入者名: 三鷹市芸術文化センター

*払込取扱票の通信欄に(予約番号)をご記入ください。

*普通郵便の場合110円、簡易書留ご希望の場合460円を加算してお振込みください。
*振込手数料はお客様のご負担になります。
*お振込み後、10日程度でチケットをお届けします。



本公演には託児サービスがご用意されています。

対象: 公演当日1歳~未就学児 定員: 10人(要予約)
料金: お子様一人につき500円(当日払い)
お申込み: 2026年10月11日(日)までに、お電話または、右の二次元コードからお申し込みください。
株式会社 明日香 Tel: 0120-165-115
(電話受付: 月曜日~金曜日 9:00~17:00)
▲予約フォーム



財団友の会「マークル」会員募集中!!

一般発売日より前に
会員先行予約があります。MARCL

*年会費2,000円
*チケットの優先予約・割引(1公演2枚まで)、ポイントの還元(ご利用額の5%)情報誌の送付、チケットの無料送付(口座会員のみの)。



三鷹市芸術文化センター

181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
Tel: 0422-47-5122

JR三鷹駅南口2番バス乗り場から「八幡前・芸術文化センター前」下車すぐ。または5・6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。または徒歩約15分。

*公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。*公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。*チケットの転売は、いかなる場合にも固くお断りします。
*未就学のお子様は入場できません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正面席最前列はご遠慮ください。*2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。*お車での来館はご遠慮願います。